

なるほど。

要因のひとつは
仕事のときの
姿勢でしょう。

えっ姿勢？

今も少し猫背ですね。

仕事の合間に
ストレッチなど
していますか？

忙しくてほぼ
座りっぱなし
です…。



筋肉の凝りが原因
緊張型頭痛

慢性的な痛みの原因は
1つではありません。
このように…

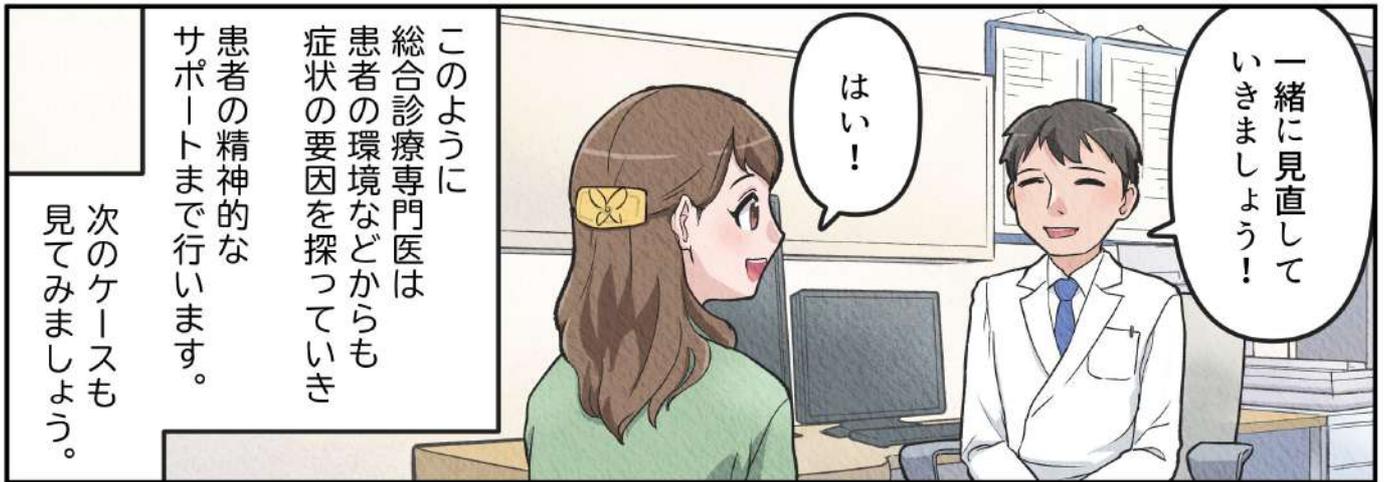
それから
頭痛薬の
飲みすぎも
よくない。



頭痛薬の
せいで
頭痛に!?

ストレスや
生活習慣

肉体・精神・環境と
さまざまな要因が重なって
頭痛に繋がっています。

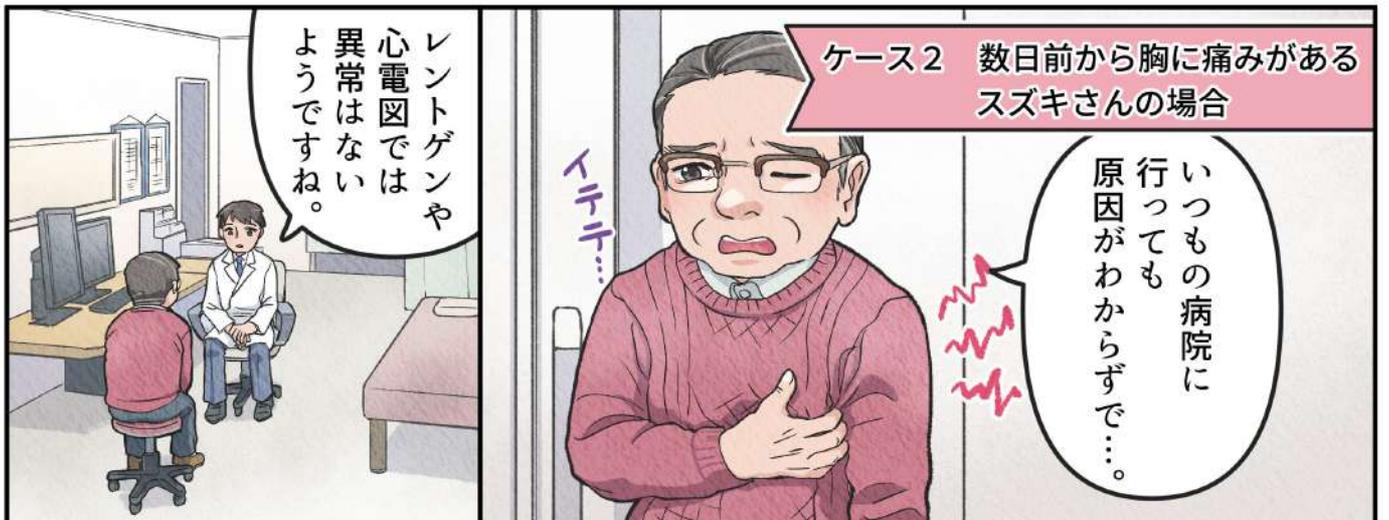


一緒に見直して
いきましょう！

はい！

このように
総合診療専門医は
患者の環境などからも
症状の要因を探っていき
患者の精神的な
サポートまで行います。

次のケースも
見てみましょう。

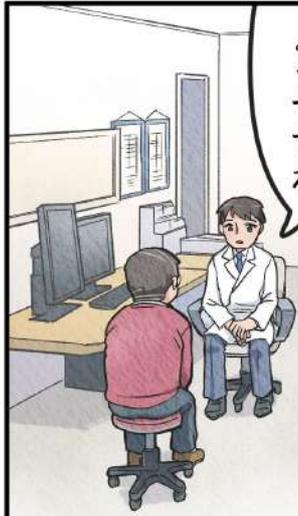


ケース2 数日前から胸に痛みがある
スズキさんの場合

いつもの病院に
行っても
原因がわからずで…。

イテテテ…

レントゲンや
心電図では
異常はない
ようですね。



スズキさんのケースでは、胸痛患者の半数が実は胸壁由来の原因であること、

そして痛みの様子から確率的に带状疱疹の可能性を疑い――



発疹を疑って診察し、診断に至りました。

やはり…。

医師は抗ウイルス剤を処方。



早期の診断によりスズキさんは後日合併症が出ることもなく完治。痛みも引ききました。

もう問題なさそうですね。



おかげでよくなりました。

これまで患者は臓器別・診療科別の専門医にかかるのが一般的でした。



肉体 (からだ)
・薬物乱用頭痛

精神 (こころ)
・抑うつ状態

環境 (せいかつ)
・職場での残業
・睡眠不足

総合診療専門医は各分野を横断的に考え

環境要因も含めて包括的に判断し、患者のトータルケアを行います。

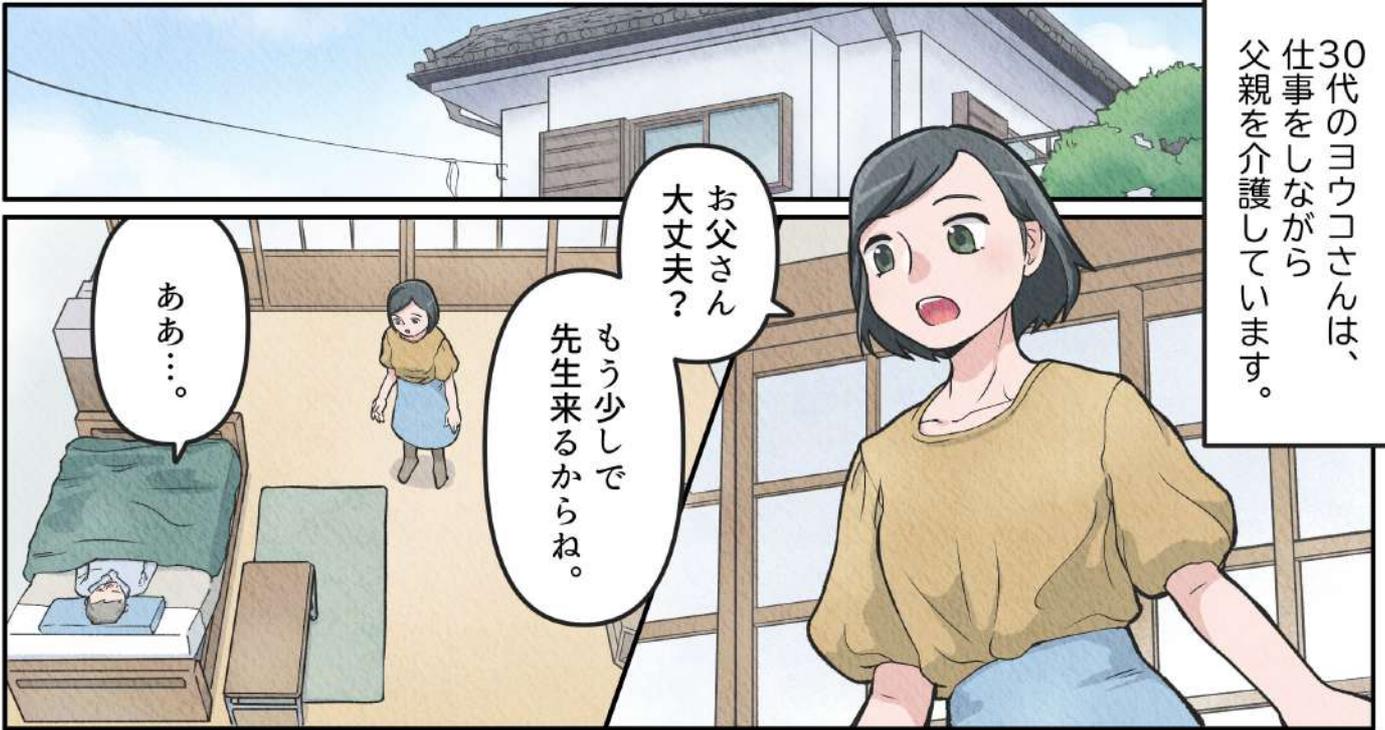
病気の原因がわからない不安なことがあるなど些細な悩みでも全力でサポートします。

ぜひ気軽にご連絡ください。



こんな時は総合診療専門医 part2

30代のヨウコさんは、仕事をしながら父親を介護しています。



お父さん大丈夫？

もう少しで先生来るからね。

ああ…。



ヨウコさんの父親は数年前に脳梗塞で倒れて以来、身体に麻痺が残り、寝たきりの生活を送っています。

ポポポ

あっ来たよ！

地域の専門職の人たちがたびたびヨウコさん宅を訪問しサポートしています。



医師

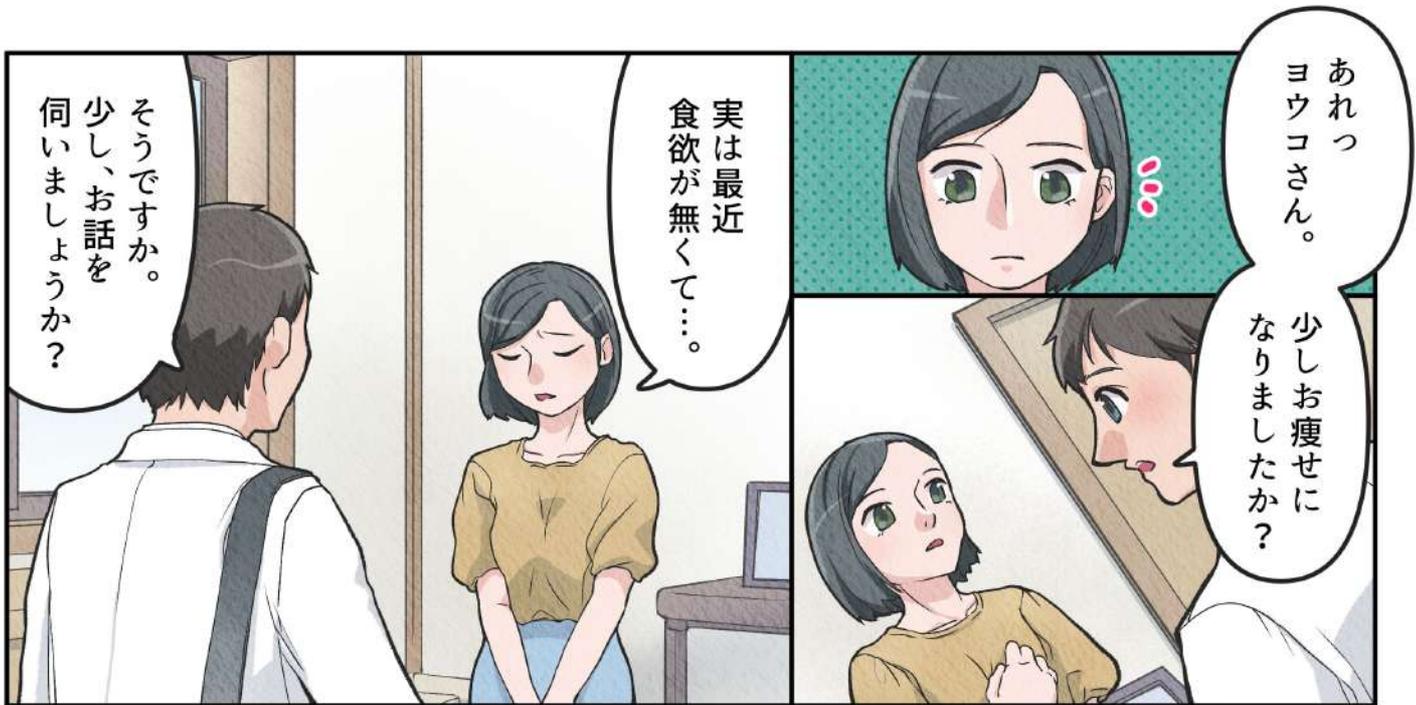
血圧も問題ないですね。

サポートチームの中心は、主治医でもあるこの総合診療専門医です。

では、心配ごとがあればいつでも連絡してくださいね。

今日もありがとうございました。





あれっ
ヨウコさん。

少しお痩せに
なりましたか？

実は最近
食欲が無くて…。

そうですね。
少し、お話を
伺いましょうか？

総合診療専門医は、
患者だけではなく
介護している家族も
支えます。

介護や仕事のストレスも
要因かもしれませんね。

ご自身の負担を軽くするために
どうしたらいいのか
一緒に考えていきましょう。

えっ、そんなことまで
対応して
くださるんですか？

その後、
医師が地域と連携し
訪問介護の時間を
増やすように要請。

ヨウコさんの
環境改善のため
サポートを行いました。



一か月後――

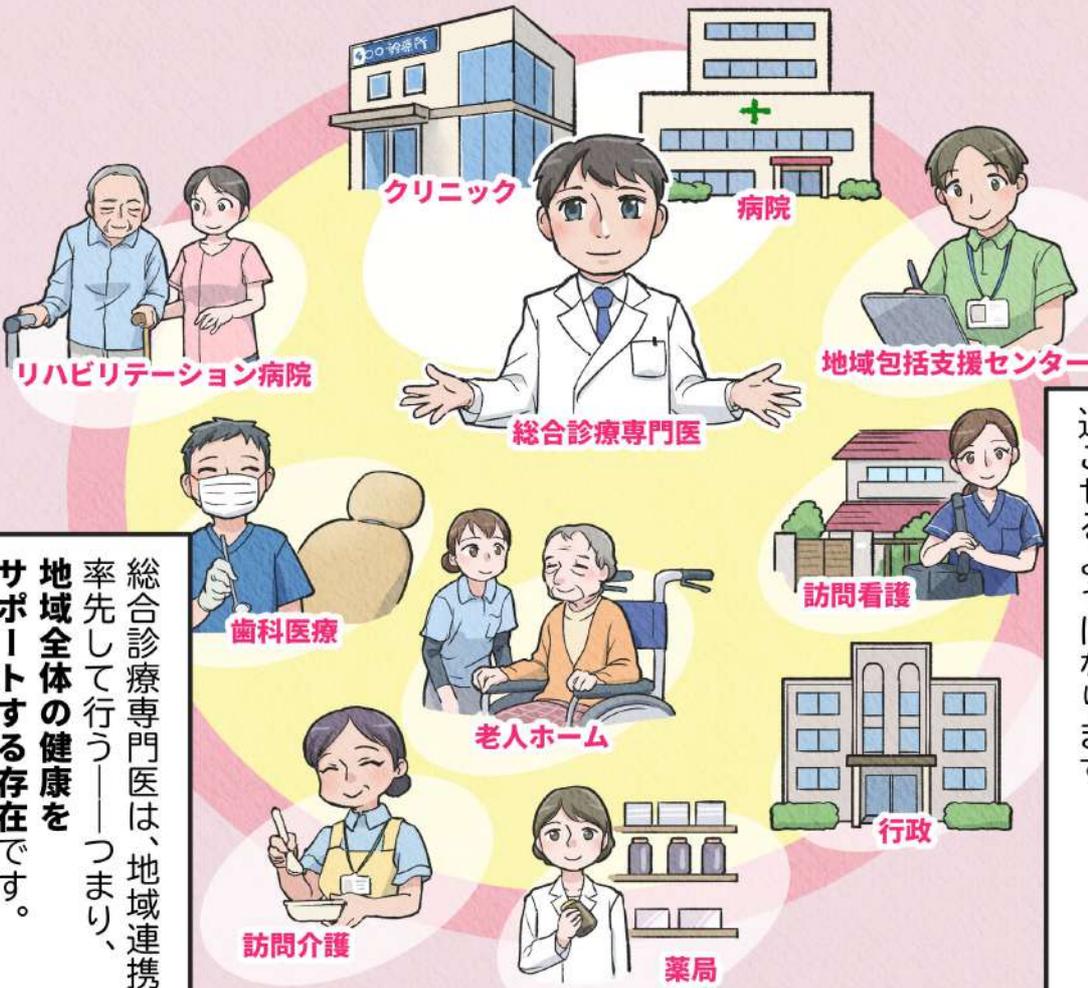
先生のおかげで
父の調子も
良さそうです。

私も食欲が
戻りました。

ヨウコさんも
体調が戻ったようで
何よりです。

社会の高齢化が進む
日本の医療では、
地域包括ケアが重要です。

地域の医療・介護従事者との連携により、
身体の不自由な高齢者などが
住み慣れた地域で最期まで自分らしく
過ごせるようになります。



総合診療専門医は、地域連携を
率先して行う――つまり、
**地域全体の健康を
サポートする存在**です。

これからの日本医療の
カギを握る
『総合診療専門医』。

総合診療専門医は、
病気の予防から終末期まで、
地域に暮らすあなたと
あなたの家族を支えます。